

● ヘロンの公式にもチャレンジしよう!

これまでの解説で、三角比の図形への応用の講義はほぼ終わっているんだけど、最後にもう1つ、“ヘロンの公式”について教えよう。

ヘロンの公式とは、 $\triangle ABC$ の3辺の長さ a , b , c が分かれば、これらから \cos や \sin の値を求めることなしに、直接 $\triangle ABC$ の面積を求めることができる、とても便利な公式なんだ。

まず、このヘロンの公式を示そう。

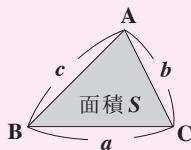
ヘロンの公式

$\triangle ABC$ の3辺の長さ a , b , c が与えられているとき、

$s = \frac{a+b+c}{2}$ を使って、 $\triangle ABC$ の

面積 S は、次のように求められる。

$$S = \sqrt{s(s-a)(s-b)(s-c)} \quad \cdots \cdots (*)$$

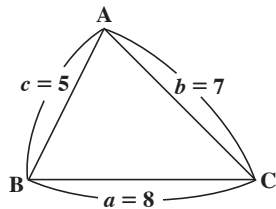


ヘロンの公式って、意外とキレイな形をしていて、使えそうだって!? そうだね、まずこの公式を利用してみよう。

練習問題 32(P201)の(1)で、 $AB = c = 5$, $CA = b = 7$, $\cos A = \frac{1}{7}$ から、余弦定理を用いて、 $a = 8$ を導いたね。

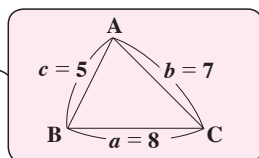
この時点で、 $\triangle ABC$ の3辺の長さ $a = 8$, $b = 7$, $c = 5$ が分かったので、(2)の $\triangle ABC$ の面積 S は、ヘロンの公式から求めることができるんだね。

まず、 $s = \frac{a+b+c}{2} = \frac{8+7+5}{2} = \frac{20}{2} = 10$ を求めて、ヘロンの公式を利用すると、 $\triangle ABC$ の面積 S は、次のように計算できる。



$$S = \sqrt{s(s-a)(s-b)(s-c)}$$

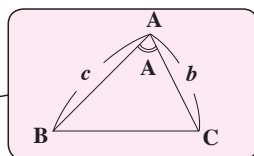
$$= \sqrt{10 \cdot 2 \cdot 3 \cdot 5} = \sqrt{10^2 \times 3}$$



$= 10\sqrt{3}$ となって、P202 で求めた(2)の結果と一致するんだね。

ヘロンの公式の威力が分かったでしょう？ ン？でも、この公式をどうやったら導けるのか、知りたいって？ 証明は結構大変なだけけれど、今のキミ達なら、十分理解できると思うから、ここで示しておこう。

$\triangle ABC$ の面積 S は、2 辺 b, c と $\sin A$ の値が分かれば、次式で求まるんだっただね。



$$S = \frac{1}{2} bc \sin A \quad \dots\dots \textcircled{1}$$

この①の両辺を2乗して、右辺を変形して
いってみよう。

$$S^2 = \frac{1}{4} b^2 \cdot c^2 \cdot \frac{\sin^2 A}{1 - \cos^2 A}$$

三角比の基本公式
 $\sin^2 A + \cos^2 A = 1$

$$= \frac{1}{4} b^2 c^2 (1 - \cos^2 A)$$

$$\frac{1 - \cos^2 A}{1 - \cos^2 A} = \frac{(1 + \cos A)(1 - \cos A)}{1 - \cos^2 A}$$

公式
 $a^2 - b^2 = (a + b)(a - b)$

$$= \frac{1}{4} b^2 c^2 (1 + \cos A) (1 - \cos A)$$

$$\frac{b^2 + c^2 - a^2}{2bc}$$

$$\frac{b^2 + c^2 - a^2}{2bc}$$

余弦定理(II)
 $\cos A = \frac{b^2 + c^2 - a^2}{2bc}$

$$= \frac{1}{4} b^2 c^2 \left(1 + \frac{b^2 + c^2 - a^2}{2bc} \right) \left(1 - \frac{b^2 + c^2 - a^2}{2bc} \right)$$

$$\frac{2bc + b^2 + c^2 - a^2}{2bc}$$

$$= \frac{(b^2 + 2bc + c^2) - a^2}{2bc}$$

$$= \frac{(b+c)^2 - a^2}{2bc}$$

$$\frac{2bc - (b^2 + c^2 - a^2)}{2bc}$$

$$= \frac{a^2 - (b^2 - 2bc + c^2)}{2bc}$$

$$= \frac{a^2 - (b-c)^2}{2bc}$$

よって、

$$\begin{aligned}
 S^2 &= \frac{1}{4} \cancel{b^2 c^2} \times \frac{(b+c)^2 - a^2}{2bc} \times \frac{a^2 - (b-c)^2}{2bc} \\
 &= \frac{1}{16} \underbrace{\{(b+c)^2 - a^2\}}_{(b+c+a)(b+c-a)} \underbrace{\{a^2 - (b-c)^2\}}_{\{a-(b-c)\}(a+b-c)} \leftarrow \begin{array}{l} \text{公式} \\ \alpha^2 - \beta^2 = (\alpha + \beta)(\alpha - \beta) \end{array} \\
 &= \frac{1}{2^4} (a+b+c)(-a+b+c)(a-b+c)(a+b-c) \leftarrow \begin{array}{l} 4 \text{ つの } () \text{ を} \\ 2 \text{ で } 1 \text{ つずつ} \\ \text{割ったんだね。} \end{array} \\
 &= \underbrace{\frac{a+b+c}{2}}_s \times \underbrace{\frac{-a+b+c}{2}}_{(s-a)} \times \underbrace{\frac{a-b+c}{2}}_{(s-b)} \times \underbrace{\frac{a+b-c}{2}}_{(s-c)} \dots\dots \textcircled{2}
 \end{aligned}$$

フ～、大変だっ!? でも、後もう少しだ。

$$\frac{a+b+c}{2} = s \quad \text{とおくと}$$

$$s-a = \frac{a+b+c}{2} - a = \frac{a+b+c-2a}{2} = \frac{-a+b+c}{2}$$

$$s-b = \frac{a+b+c}{2} - b = \frac{a+b+c-2b}{2} = \frac{a-b+c}{2}$$

$$s-c = \frac{a+b+c}{2} - c = \frac{a+b+c-2c}{2} = \frac{a+b-c}{2} \quad \text{となるので、}$$

これらを②に代入すると

$$S^2 = s \cdot (s-a) \cdot (s-b) \cdot (s-c) \dots\dots \textcircled{3} \quad \text{となる。}$$

ここで、当然、 $\triangle ABC$ の面積 S は $S > 0$ より、③の両辺の正の平方根をとると、ヘロンの公式： $S = \sqrt{s(s-a)(s-b)(s-c)}$ ……(＊)が、導かれるんだね。

公式の証明って、かなり大変なので、1回で理解しようと焦ることはないよ。何度も納得がいくまで見返して、自分のものにしていってくれたらいいんだよ。

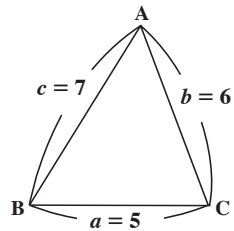
それでは、例題で練習しておこう。

(a) 3 辺の長さ $a = 5$, $b = 6$, $c = 7$ の $\triangle ABC$

の面積 S を求めてみよう。

$$\text{まず, } s = \frac{1}{2}(a + b + c)$$

$$= \frac{1}{2}(5 + 6 + 7) = \frac{18}{2} = 9 \text{ を求めて,}$$



ヘロンの公式を用いると

$$S = \sqrt{s(s-a)(s-b)(s-c)} = \sqrt{9 \times 4 \times 3 \times 2}$$

$$\begin{matrix} \textcircled{9} & \textcircled{9-5} & \textcircled{9-6} & \textcircled{9-7} & \textcircled{3^2 \times 2^2 \times 3^1 \times 2^1 = 3^3 \times 2^3 = 6^3 = 6^2 \times 6} \end{matrix}$$

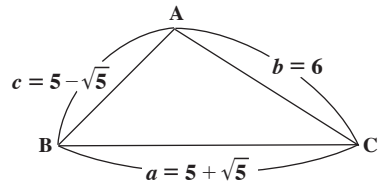
$= \sqrt{6^2 \times 6} = 6\sqrt{6}$ と、スグに答えが求まるんだね。

(b) 3 辺の長さが, $a = 5 + \sqrt{5}$, $b = 6$,

$c = 5 - \sqrt{5}$ の $\triangle ABC$ の内接円の半径 r を求めてみよう。

$$\text{まず, } s = \frac{1}{2}(a + b + c)$$

$$= \frac{1}{2}(5 + \sqrt{5} + 6 + 5 - \sqrt{5}) = \frac{16}{2} = 8 \text{ より}$$



$\triangle ABC$ の面積 S は, ヘロンの公式から

$$S = \sqrt{s \cdot (s-a) \cdot (s-b) \cdot (s-c)}$$

$$\begin{matrix} \textcircled{8} & \textcircled{8-(5+\sqrt{5})} & \textcircled{8-6} & \textcircled{8-(5-\sqrt{5})} \end{matrix}$$

$$= \sqrt{8 \cdot (3 - \sqrt{5}) \cdot 2 \cdot (3 + \sqrt{5})}$$

$$= \sqrt{16 \cdot (3 - \sqrt{5}) \cdot (3 + \sqrt{5})} = \sqrt{16 \times 4} = \sqrt{64} = 8$$

$$\textcircled{3^2 - (\sqrt{5})^2 = 9 - 5 = 4}$$

次に, $\triangle ABC$ の内接円の半径 r を求める公式は,

$$S = \frac{1}{2}(a + b + c) \cdot r \text{ より, } 8 = 8 \cdot r$$

$$\begin{matrix} \textcircled{8} & \textcircled{s=8} \end{matrix}$$

よって, $r = 1$ が求まるんだね。納得いった?